

▽ 黒澤 亜里子 教授 KUROSAWA,Ariko



学 科: 日本文学学科

担当科目: 【学部】文化テキスト論ⅠⅡ、日本文学講読ⅢⅣ、基礎演習ⅠⅡ、演習ⅠⅡⅢⅣ、卒業論文。

【大学院】日本近代現代文学特論ⅠⅡ、特殊研究ⅠⅡ。

写真

学歴等のプロフィール

① 【主要学歴】②【学位】③【所属学会】

- ①早稲田大学第一文学部仏文科卒業、法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程修了
 ②博士（文学）
 ③日本近代文学会、日本文学協会、日本社会文学会、クィア学会

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1.教育活動		
【学部】		
① 文化テキスト論ⅠⅡ	2010年4月～2月	日本文学学科2年次以上対象。 選択必修科目（半期2単位）。
②演習ⅠⅡⅢⅣ	2010年4月～2月	日本文学学科3年次以上対象。 必修科目（半期2単位）。
③卒業論文	2010年4月～2月	日本文学学科4年次対象。 必修科目（通年4単位）。
④日本文学講読ⅢⅣ	2010年4月～2月	日本文学学科2年次以上対象。 選択科目（半期2単位）。
⑤基礎演習ⅠⅡ	2010年4月～2月	日本文学学科1年次以上対象。 必修科目（半期2単位） ※学科全体でシラバス、カリキュラムの見直しを行い、改革案を試行中。
【大学院】		
①日本近代現代文学特論ⅠⅡ	2010年4月～2月	地域文化研究科南島文化専攻1年次以上対象。（半期2単位）

②日本言語文化特殊研究 I II	2010年4月～2月	修士論文指導。 地域文化研究科南島文化専攻1年次以上対象 (通年4単位)
③論文審査	2008～2010年2月	2007年度(副査1) 2008年度(主査1) 2009年度(主査1、副査1)
2.作成した教材 1.基礎演習I IIにおける教材の開発	2011.7	※2011年度、日本文化学科の教員全員で読書教材「日文コンパス」の開発に取り組み発行。
3.学外での教育活動 ①琉球大学法文学部非常勤講師	1990年4月～2009年8月	演習ⅢⅣ、日本近現代文学講読I担当。
②尾崎翠フォーラム講師	2006年7月	演題「尾崎翠と少女たちの時空」

研究業績等【主要論文及び主要著書】

- ①『女の首—逆光の「智恵子抄」』、ドメス出版、1985年(『逆光の智恵子抄』学陽書房、1997年)。
- ②「夢のキッチン・吉本ばなな論」『NEW FEMINISM REVIEW』vol.1、1990年、134-151。
- ②「女声とその周辺—日中十五年戦争下の文学の比較・交流研究—」『国内・国外派遣研究員研究報告書』第4号、沖縄県人材育成財団、1995年8月、42-62。
- ③「1912年のらいてうと紅吉—『女性解放』とレズビアニズムをめぐって—」『文学・社会へ地球へ』、三一書房、1996年、309-327。
- ④「親指Pとの対話—『優しい去勢』をめぐって—」『群像』、1997年5月、292-287。
- ⑦「出郷する少女たち—1910年～20年代、吉屋信子、金子みすず、尾崎翠、平林たい子、林芙美子ほか—」『文学史を読みかえる2〈大衆〉の登場』、インパクト出版会、1998年、78-97。
- ⑧「尾崎翠と少女小説」『定本尾崎翠全集』下巻、筑摩書房、1998年、439-453。
- ⑨「琉歌と和歌という境界」富岡多恵子編『短歌と日本人IV』、岩波書店、1999年、198-248。
- ⑩ Modern Japanese Literature and the “Rivalry Between the Sexes”: On Tamura Tosiko’s “Ikiti” (Life Blood), Gender and Japanese History, Osaka University vol. 2, 1999, 253-280.
- ⑪「崎山多美の『ゆらていくゆりていく』を〈ゆんたくひんたく〉読む」『ユリイカ』450号、2001年8月、188-194。
- ⑫「目取真俊『虹の鳥』論—日常の細部を浸潤する〈暴力〉—」黒澤亜里子編『沖国大がアメリカに占領された日』、青土社、2005年、241-257。
- ⑬『往復書簡 宮本百合子と湯浅芳子』編著、翰林書房、2008年。

研究分野

日本近代現代文学、沖縄文学、ジェンダー学、クィア理論。

【Eメール・ホームページ等】

kurosawa@okiu.ac.jp

平成 23 年 12 月 2 日現在